

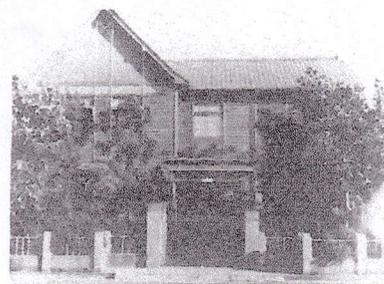
「新潟市工之跡」石碑建立と移転の経緯

◎ 新潟市下町に、唯一の新潟市立工業高等高校が開校

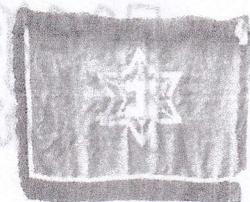
昭和20年3月 新潟市立工業高等高校として開校

(新潟市鉄工組合の解散により、その建物や機械器具を新潟市が譲り受けて開校、生徒50名、専任職員3名、講師8名)

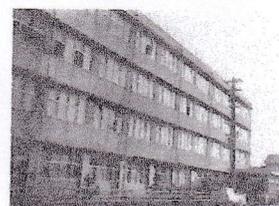
- // 21年4月 新潟市木工試験場を買収、本拠とする
- // 23年3月 第一期卒業生 40名
- // 23年4月 新潟市立工業高等学校と改称し、定時制課程も設置
- // 24年2月 国立倉庫解体の用材を用いて体育館、普通教室を作る
- // 25年4月 国内唯一の造船科を新設 生徒40名
- // 26年3月 校歌制定 作詞：大木 惇夫、作曲：岡本 敏明
- // 31年4月 機械科1学級増設
- // // 第二代目磯貝校長により「校訓」が決まる
- // 32年4月 定時制に機械科1学級増設
- // 34年4月 電気科1学級新設
- // 36年4月 定時制に電気科1学級新設
- // 38年3月 改築校舎本館完成
- // 39年6月16日 新潟地震発生、津波と液状化により付近一帯床上浸水となる
- // 39年6月30日 授業再開
- // 42年10月 新体育館完成
- // 44年9月 新校舎増設1期工事完成
- // 46年10月 創立25周年記念式典挙行政
- // 48年4月 新教育課程発足機械科1学級増設
- // 50年10月 創立30周年記念式典挙行政
- // 53年12月 市議会にて市立高等学校整備が決まる
- // 54年1月 市立白山高校、市立工業高等学校の両校で検討
- // 55年4月 新潟市立高志高等学校発足
- // 56年3月 定時制閉課程記念式挙行政
- // 56年11月 閉校記念碑「新潟市工之跡」碑除幕式
本校正面玄関脇の庭に、裏面に校章、校名、校歌、沿革、卒業生数等を記す
- // 57年3月 最後の卒業証書授与式



新潟市木工試験場校舎



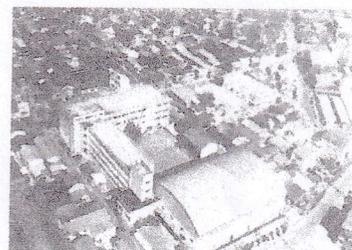
新潟市工校旗



改築となった本館校舎



バス道路も水深30cm程であった



昭和57年空撮

卒業生総数	6,956名		
全日制課程	4,982名	定時制課程	1,974名
機械科	2,957名	機械科	1,323名
電気科	1,462名	普通科	258名
造船科	563名	電気科	393名



昭和57年3月発行の閉校記念号